

2. 副首都・大阪の確立、発展に向けた戦略（3）

【経済成長面】 持続的な経済成長のための取組み ②

資本金

グローバル競争力の更なる強化を図るため、ハード・ソフトのインフラを世界の主要都市に匹敵する水準に高めていきます。

世界に誇れる都市空間の創造

大阪への人・モノの流れを活発化させるため、大阪の顔となるうめきた2期のまちづくりなどの都市空間の創造や、域内交通ネットワーク（高速道路・鉄道網）の強化を進めます。

また、国際空港機能の強化、大阪湾諸港の国際競争力強化や広域交通ネットワーク（リニア中央新幹線、北陸新幹線）の早期全線開業を促進し、広域的なネットワークの結節点として国内外の都市との連携強化をめざします。



■新たなまちづくりに取り組むうめきた2期



■東西の大都市圏を結ぶリニア中央新幹線

世界的な創造都市、国際エンターテインメント都市の確立

観光拠点として、また、インバウンド客を国内各地へつなぐ観光ハブとしての機能を高めるとともに、MICE機能や国際的なエンターテインメント機能等を備えた統合型リゾート（IR）の誘致などによる国際観光拠点の形成を促進します。

さらに、大阪が誇る文化や歴史、伝統芸能、スポーツ、芸術、食などの都市魅力を最大限活用するなど、都市ブランドの向上を図り、大阪の世界への発信力を高めます。



■御堂筋の側道歩行者空間化のイメージ



■世界遺産登録をめざす百舌鳥・古市古墳群



■大阪が誇る伝統芸能能勢人形浄瑠璃「鹿角座」

人材力

世界的に人材獲得競争が激化している状況を踏まえ、多様な人材の育成や呼び込みを行い、内外から多様なプレーヤーが集い、活躍する場を創出します。

多様な人材が活躍できるオープンでチャレンジングな環境整備

特区等を活用したビジネス環境の整備や創業など新たなチャレンジを支援する取組み等を積極的に進め、内外から多様な人材を呼び込みます。

大学や研究機関、経済界等とも連携し、高度人材の育成や確保、大阪での定着に努めるとともに、ダイバーシティの考え方により、女性や外国人高度専門人材など多様な人材が社会で活躍できる環境づくりに取り組めます。



■おおさかグローバル塾 Plus



■国際イノベーション会議 Hack Osaka

民間活動促進の仕組みづくり

多様な人材の活躍を進めていくため、規制改革等により民の活動を活発化させるとともに、公と民が手を携え、社会的課題の解決を図りながら、住民サービスの提供と経済活性化の実現をめざす公民連携の強化を図ります。

将来の公益庁創設などの国制度に踏み込んだ改革を視野に、「フィランソロピーにおける国際的な拠点都市」をめざした取組みを進めます。



<副首都・大阪の発展を加速させるインパクト>

2025 日本万国博覧会の開催

2025日本万国博覧会は、2020年の東京オリンピック・パラリンピック後のわが国の成長の起爆剤です。

大阪・関西において万博を契機に世界からの知を集め、人類社会に貢献することにより、副首都・大阪としての都市格の向上や経済活性化をより一層加速させることが可能となります。



OSAKA-KANSAI/JAPAN EXPO 2025



□開催概要

期	間	2025年5月3日～11月3日（185日）
テ	マ	いのち輝く未来社会のデザイン
入場者想定規模		約2,800万人

統合型リゾート（IR）の立地推進

国際的なエンターテインメント機能やMICE機能等を有するIRの誘致により、副首都・大阪の世界水準の都市ブランドの確立をより一層加速させることが可能となります。



□IR立地推進の動き

2016年12月	IR推進法成立
2018年以降	IR実施法制定（想定）
	自治体からの申請・認定（想定）